

知事とのふれあい対話（湧水町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
湧水町内の排水ポンプについて	<p>国土交通省が仮設の排水ポンプを湧水町内に3カ所（中野排水樋門，中津川樋門，湯谷川の水門）設置している。</p> <p>しかし，たびたび浸水が生じているので，（この3カ所への）本格的な排水ポンプの設置について，国土交通省に要望していただき，浸水が少なくなるようお願いしたい。</p>	<p>排水ポンプの設置については，湧水町と連携して，引き続き国土交通省に要望を行ってまいります。</p>	河川課

知事とのふれあい対話（湧水町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
若者の県内定着について	湧水町も人口が減少しているため、若者が多く定着するために、若者が住みやすい町づくりを実施したら人口減も止まるのではないかと。県として、若者を定着させるための対策を実施してほしい。	<p>県では、若者等の県内定着を促進するため、県の広報媒体等を活用し、鹿児島で働き暮らすことの魅力やメリットを県内外に広く発信しています。また、高校生等を対象に経営者や技術者を招いた出前授業や講演会への講師派遣等を実施し、地元で働き暮らすことの意義等についての啓発を図っているほか、合同企業説明会やUIターンフェアの開催による県内企業の紹介等を通じてその魅力発信に取り組んでいます。</p> <p>さらに、若者等のUIターンの促進を図るため、就職情報提供サイト「かごJob」による県内企業の紹介等により、県内企業の魅力を効果的に情報発信するとともに、東京、大阪及び鹿児島に設置しているふるさと人材相談室による職業紹介・職業相談を行っております。また、本県内で行うインターンシップや採用面接に参加する県外の学生等に交通費等を支給する県内企業等の支援を行うこととしております。</p> <p>起業しようとする人材については、本県産業の原動力となることが期待されることから、起業に向けた機運醸成を図るため、ビジネスプランコンテストを開催し、ビジネスプランの策定や事業化に必要な資金面の支援等を行っております。また、地域が抱える課題の解決に資する社会的事業の起業に対する支援も行っております。このほか、今年度、県庁最上階（18階）にコワーキングスペース「かごゆいテラス」を整備し、社会課題の解決に向けた新事業の創出や起業に向けた機運の醸成を図ることとしております。</p> <p>今後とも、これらの取組の充実を図るなど、若者の定着促進に努めてまいります。</p>	<p>商工政策課</p> <p>雇用労政課</p> <p>新産業創出室</p> <p>高校教育課</p>

知事とのふれあい対話（湧水町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
移住交流促進対策について	<p>湧水町も人口が減少しているため、若者が多く定着するために、若者が住みやすい町づくりを実施したら人口減も止まるのではないかと。県として、若者を定着させるための対策を実施してほしい。</p>	<p>本県への移住促進については、県では、市町村と連携し、移住者支援の取組などの情報発信や、移住・交流相談員を東京に配置し、本県の移住につながるような相談対応を行うなど、移住に向けた気運醸成を図っています。</p> <p>また、地域おこし協力隊の人材確保を図るため、ホームページ等に隊員募集情報を掲載しているほか、隊員の退任後の定住へ向けた支援としての起業・就業等をテーマにしたセミナーなどを開催することとしています。</p> <p>地域おこし協力隊は、若い世代の移住・交流に効果的であることから、市町村と連携し、今後とも定住促進が図られるよう取り組んでまいります。</p>	地域政策課
今後の新型コロナウイルス感染症の見通し及びワクチンの接種状況	<p>今コロナで大変な状態である。それでなかなか色々な活動ができず、中止や延期になっているので、非常に難しいことだと思うが、コロナがどういうふうになっていくかという見通しと、ワクチンの接種状況、県全体の接種状況について、伺いたい。</p>	<p>ワクチン接種については、希望する県民の2回目接種を11月末に概ね終了できたと考えているところです。</p> <p>また、追加接種（3回目接種）についても、2回目接種を終えた全ての人を対象に実施する方針が決まり、12月1日からは医療従事者等の接種が始まり、1月には高齢者等の接種、その後、順次、追加接種が進められる予定です。</p> <p>なお、ワクチン接種の状況については、県ホームページにも掲載しておりますので、ご覧ください。</p>	新型コロナウイルス感染症対策室

知事とのふれあい対話（湧水町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
酪農について	<p>10年前に千葉県からIターンし、酪農をしている。今年、乳製品加工施設を作り、モッツアレラチーズの販売を始めたが、今後は、ソフトクリーム、バター、ヨーグルトなども作っていきたい。また、労力の低減に繋がる循環型農業を行うため、使われてない畑や山に牛を放牧し、放牧の面積をふやしていきたい。</p>	<p>県では、地域振興局において就農された方々に対して、市町村や関係団体等とも連携して家畜の栄養管理などの技術指導や簿記記帳に基づく経営指導を行うとともに、放牧酪農や規模拡大など経営計画に係る相談にも個別に対応しております。</p> <p>また、加工販売の6次産業化等に係る支援についても必要に応じて地域振興局にご相談ください。</p>	畜産課
特別支援学校の設置について	<p>湧水町の児童生徒は、出水特別支援学校まで約1時間半、毎日大変な思いで通学している。子ども達の負担が、一日でも早く解消され、毎日楽しく、安心、安全に通学できるよう、湧水町から30分圏内に特別支援学校の設置をお願いしたい。</p>	<p>特別支援学校の設置については、新たに制定された特別支援学校設置基準の趣旨を踏まえつつ、通学時間の課題等も含め、県全体の特別支援学校の教育環境の改善として、各学校の状況を勘案しながら、既存施設の改修や学校の分置なども含めて検討し、優先順位を定めて計画的に対応していきたいと考えています。</p>	特別支援教育室
農家での体験活動について	<p>お茶の需要喚起策として、湧水町の農家とふれ合う（体験できる）機会を、作っていただけると考えている。生産者の姿勢や考え方を消費者に知ってもらうことが大事なのではないかと考えている。</p>	<p>県では、かごしまグリーン・ツーリズム協議会と連携し、地域における体験プログラムの開発等の支援やコロナ後を見据えて、宿泊施設等を起点にした農村体験プログラムの開発にも取り組んでいるところです。</p> <p>当事業の詳細については、地域振興局にお問い合わせください。</p>	農村振興課

知事とのふれあい対話（湧水町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
特産品販売の機会の創出について	<p>昨年，ドルフィンポート跡地で鹿児島県の特産品販売という機会をいただいたが，また湧水町をPRできる機会をいただけないか。</p>	<p>コロナ禍で厳しい状況におかれている県産品事業者を支援するため，昨年11月にドルフィンポート跡地で開催した「かごしま県産品応援市」にご出店いただき，ありがとうございました。</p> <p>今年度は，同様の県内でのイベントは計画しておりませんが，百貨店での物産観光展や大型量販店での鹿児島フェアを開催するとともに，ECサイト「かごいろ」において，県産品の販売促進に取り組んでいるところです。</p> <p>また，物産観光展や鹿児島フェアの会場では，市町村を含めた観光情報等の発信も行っております。</p> <p>このような機会の活用について，ご検討いただきますようお願いいたします。</p>	かごしまPR課
JR肥薩線について	<p>バスで人吉まで来て，肥薩線を通じて市内に入るというルートは非常に貴重だと思う。この自然いっぱいの珍しい鉄道を是非活かしてほしい。</p>	<p>肥薩線については，運行中の吉松～隼人間や吉松で接続する吉都線の活性化や，利用促進に取り組んでおり，令和2年7月豪雨の影響で運休中の人吉～吉松間と併せて，肥薩線が維持・存続されるよう取り組んでまいります。</p>	交通政策課

知事とのふれあい対話（湧水町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>県道103号線の整備について</p>	<p>宮崎県のえびの方面とつながる、県道103号線の整備について、是非検討してほしい。</p>	<p>宮崎県境付近の交通不能区間については、国立公園区域内にあることや、地形が険しいこと、希少生物が確認されたことなど様々な課題があり、これまで整備されなかったところでは、</p> <p>しかしながら、道路のネットワークを充実させることは、観光振興や防災などの観点から重要であると考えています。</p> <p>宮崎県とは今後の整備方針等について継続的に協議を行っており、現在、交通不能区間の延長が長い宮崎県が主体となって、宮崎県側の国有林内の既設林道を活用した概略ルートの検討や環境調査を行っているところです。</p> <p>また、未改良区間のうち、急カーブ、視距不良、離合困難となっている栗野岳温泉から、栗野岳レクリエーション村までの区間（延長：約1.3km）については、急カーブの解消や、大型バスの離合が可能な待避所を設けるなどの整備を進めているところです。</p>	<p>道路建設課</p>
<p>栗野インターから水俣インターまでの高速道路の整備について</p>	<p>不知火海と霧島温泉郷を結べば、非常に観光としては使いやすいことから、栗野インターから水俣インターまでの高速道路を整備してはどうか。</p>	<p>道路整備につきましては、産業の振興や地域の活性化、県民生活の安心・安全の確保を図る観点から、地域の御要望や整備の必要性・緊急性などを考慮し、計画的に進める必要があると考えております。</p> <p>湧水町栗野と水俣市間を結ぶ道路につきましては、これまで国道268号などの整備を進めてきたところがあります。</p> <p>御意見をいただきました、栗野インターから水俣インターを結ぶ高速道路の整備につきましては、今後の道路整備を進める上での参考とさせていただきます。</p>	<p>道路建設課</p>

知事とのふれあい対話（湧水町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
霧島アートの森の運営等について	<p>私の会社は、オープン以来、霧島アートの森にテナントとして参加している。展覧会の計画や、アートの森の運営について、地元の人にアンケートを行い、地元の意見を聞きながら進めれば、より実情に沿った運営等ができるのではないかと。</p>	<p>霧島アートの森では、館内に常時、アンケート箱を設置するとともに、ホームページのお問い合わせから入力していただくことにより、利用者の御意見を把握するよう努めているところです。</p> <p>また、「湧水町高原フェスタ」などのイベントや「としょかんまつり（創作教室）」などの教育活動をとおして湧水町及び湧水町教育委員会との連携を図っているほか、町観光協会の会員として参画し、同協会の歓迎のぼり旗の設置や会員店で前売券の販売を行っていただくなど、地元関係団体と連携した取組を行っているところです。</p> <p>県としても、霧島アートの森が地元の方々にも愛され、一体となって盛り上げていければと考えておりますので、今後、より地元の方のご意見をお聞きできる場や機会を設けてまいります。</p>	文化振興課
特別支援学校の設置について	<p>特別支援学校が近くにできたら、通学時間が短くなり、通学路の危険も減ることで、子供たちの不安も解消され、親も安心できる。また、地域の方々との交流も増え、地域の支援教育の拠点となり、療育や放課後等デイサービスの充実、卒業後の就労の場、入所やショートステイの生活の場が増えていくことも考えられる。ぜひ、特別支援学校の設置をお願いしたい。</p>	<p>特別支援学校の設置については、新たに制定された特別支援学校設置基準の趣旨を踏まえつつ、通学時間の課題等も含め、県全体の特別支援学校の教育環境の改善として、各学校の状況を勘案しながら、既存施設の改修や学校の分置なども含めて検討し、優先順位を定めて計画的に対応していきたいと考えています。</p>	特別支援教育室

知事とのふれあい対話（湧水町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
放課後等デイサービスの充実、特別支援学校の設置について	<p>放課後等デイサービスの充実、特別支援学校の設置により、鹿児島県内どこの地域に生まれても、同じように支援が受けられ、子どもたちが生き生きと暮らせることが重要だと考える。これを実現するため、勇気を持って、行動する親たち、仕事を通して社会で活躍しようとする親たちに、今後期待することは何か。</p>	<p>湧水町には、児童発達支援事業所と放課後等デイサービス事業所が1か所ずつしかない状況です。</p> <p>湧水町においては、令和3年3月に町が策定した障害福祉計画において、放課後等デイサービスのサービスの見込み量が設定されており、当該サービス見込み量も踏まえて湧水町と連携してまいります。</p> <p>特別支援学校の設置については、新たに制定された特別支援学校設置基準の趣旨を踏まえつつ、通学時間の課題等も含め、県全体の特別支援学校の教育環境の改善として、各学校の状況を勘案しながら、既存施設の改修や学校の分置なども含めて検討し、優先順位を定めて計画的に対応していきたいと考えています。</p>	<p>障害福祉課</p> <p>特別支援教育室</p>
農業の先進的な取り組みに係る横展開について	<p>みどりの食料システム戦略について、横展開を広げるためには、先進農家に対する補助事業等の支援が必要。アフターコロナの補助金は、このみどり戦略を踏まえて、横展開を要件として、盛り込むなどすればよいのではないかと。</p> <p>具体的には、生産に係る良質な資材等を提供できるか、良質な苗を確保できるか、技術指導ができるか、研修生を受け入れて育成する用意があるか等を要件に盛り込むことで、戦略に資する農家をピンポイントで応援できる体制になるのではないかと。</p>	<p>県では、環境保全型農業直接支払い交付金の活用などにより、環境との調和に配慮した産地づくり等を進めているほか、経営規模に応じたスマート農業機器の導入が図られるよう、新型コロナウイルス感染症の拡大により生じた社会変革に対応した新たななかごしま農業の構築を支援する「ポストコロナ農業生産体制革新プログラム事業」等の活用なども含めた支援を行っているところです。</p> <p>国においては、令和3年5月に、「みどりの食料システム戦略」を策定したところであり、令和4年度から「みどりの食料システム戦略」に関する事業が新設される見込みであり、県としても、ご指摘の先進的な取組を大きく育てていく視点等から、今後、事業の活用等について検討してまいります。</p>	<p>農政課</p>

知事とのふれあい対話（湧水町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>アフターコロナについて</p>	<p>コロナが収まった後、県全体を見て、これからやっていかなければいけないなという、何か大きなテーマがあれば、伺いたい。</p>	<p>人口減少と地域の活性化が大きな課題と認識しています。そのために「稼ぐ力」すなわち、農林水産業、観光関連産業など、本県の基幹産業を今後、どのように発展させていくかが重要だと考えております。</p> <p>【農林水産業】 農林水産業を支える人づくり・地域づくりの強化、ICT等の活用による生産・加工体制の強化、付加価値の向上、生産者、関係団体等と一体となった販路拡大や輸出拡大に取り組み、農林水産業の更なる発展を図ってまいります。</p> <p>【観光関連産業】 データの分析等に基づいた観光客数の増加を図るとともに、幅広い関係者が連携した観光地域づくりを推進し、観光消費額の増加を図ってまいります。</p> <p>【新産業創出】 スタートアップ支援や中小企業による新事業展開への支援等に取り組み、将来を担う新たな産業の創出を図ってまいります。</p>	<p>農政課 観光課 かごしま材振興課 水産振興課 新産業創出室</p>

知事とのふれあい対話（湧水町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
移住交流対策について	<p>古民家を利用したゲストハウスで、移住者や農業体験・田舎暮らしをしてみたい、そういう人たちの受け入れ口になればいいと思っており、人口減対策でお役に立てればと思っている。県としても人口減対策は実施していると思うので、その対策等に準じて自分も実施していきたい。</p>	<p>湧水町をはじめとする一部の市町村においては、体験施設宿泊や農家宿泊といった移住希望者への体験メニューを準備しています。</p> <p>県では、市町村と連携し、こうした移住者支援の取組の情報発信や、移住・交流相談員を東京に配置し、本県への移住に繋がるような相談対応を行うなど、移住に向けた気運醸成を図っています。</p>	地域政策課
放課後等デイサービスについて	<p>湧水町内には、放課後等デイサービスが1つしかなく、満員状態のため、週3日しか利用することができない。</p> <p>県内では、放課後等デイサービスの施設は年々増えているが、湧水町では、支援を希望している人が増えているにも関わらず、施設が充実していない。</p> <p>県内の他の地域と同様に、放課後等デイサービスが充実し、支援の必要な子供たちが、いつでも安心して利用できるようにしていただきたい。</p>	<p>湧水町には、児童発達支援事業所と放課後等デイサービス事業所が1か所ずつしかない状況です。</p> <p>湧水町においては、令和3年3月に町が策定した障害福祉計画において、放課後等デイサービスのサービスの見込み量が設定されており、当該サービス見込み量も踏まえて湧水町と連携してまいります。</p>	障害福祉課

知事とのふれあい対話（湧水町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>障害児，障害者のショートステイを利用できる入所施設の設置と支援員の人材育成</p>	<p>現在，障害者や発達に障害のある方が急増しているにも関わらず，就労の場は少なく，入所やショートステイなどを利用できる福祉施設は湧水町にない。近辺の伊佐市，霧島市にはあっても，どこの施設も満員で，入所の待機登録はできても，20人から40人ほどが待機状態で，実際の利用となると何年先になるかという現状。</p> <p>小さいうちから，近辺でショートステイなど利用できる入所施設があれば，安心して利用できる施設になると思う。</p> <p>また，受入施設を探す際に「強度行動障害に対応できる職員がいない」という理由で断られ，施設を探すことに大変苦労した。</p> <p>早急に，施設の設置と強度行動障害に対応できる職員等の人材育成をお願いしたい。</p>	<p>湧水町にはショートステイで利用できる施設がありませんが，近隣の伊佐市に7か所，霧島市に10か所あります。</p> <p>令和3年3月に町が策定した障害福祉計画において，ショートステイのサービス見込み量が設定されており，当該サービス見込み量も踏まえて湧水町と連携してまいります。</p> <p>強度行動障害者の支援に係る人材育成については，県で強度行動障害者支援者養成研修機関として2か所指定し，毎年度研修を開催して人材育成に努めているところです。今後も，引き続き人材育成に努めるとともに，関係事業所等へ研修の周知をしてまいります。</p>	<p>障害福祉課</p>
<p>特別支援学校の設置について</p>	<p>自分が行っているピアノ教室にも，出水養護学校に通っている子どもたちがいる。非常に大変な中で通ってるなど感じる。中でも，大雨の時はすごく心配したので（特別支援学校の設置について）お願いしたい。</p>	<p>特別支援学校の設置については，新たに制定された特別支援学校設置基準の趣旨を踏まえつつ，通学時間の課題等も含め，県全体の特別支援学校の教育環境の改善として，各学校の状況を勘案しながら，既存施設の改修や学校の分置なども含めて検討し，優先順位を定めて計画的に対応していきたいと考えています。</p>	<p>特別支援教育室</p>

知事とのふれあい対話（湧水町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>「魚野フライトエリア」への駐車場の設置について</p>	<p>湧水町の魚野というところから見える雲海がとてもきれいである。しかしながら、雲海を見ることができ「魚野フライトエリア」に駐車場がほとんどないので、整備をお願いしたい。</p>	<p>県では、魅力ある観光地づくり事業により、湧水町の「八幡大地獄散策路整備」など県内各地において観光施設整備をおこなっているところ です。 新たな計画等について、同事業を活用する場合は、町からの提案を受け実施することとしています。 湧水町の意向を確認したところ、町は整備の必要性を検討中であるとのことですが、観光地の整備に当たっては、その効果が周辺に波及し、地域により多くの消費を持たらすものとするのが肝要であることから、地元にお金が落ちる仕組みも含めて町における検討の推移を見守ってまいります。</p>	<p>観光課</p>
<p>学校のデジタル化の推進について</p>	<p>湧水町も今年になって、学校で、タブレットが一人1台ずつ子供たちに配布が始まったが、そういうことに長けている一部の先生に負担がいかないような形で、人材育成や人材活用というのを、県の方からも支援してほしい。</p>	<p>県教委では、全ての教員がICTを効果的に活用した授業ができるように、教職員の研修の充実に取り組んでいます。 今年度は、従来対面方式であった研修会にオンライン方式を導入することにより、2,000人以上の受講を可能とするなど、研修機会の拡充を図っているところ です。 また、GIGAスクール構想を推進するためのサポーターを配置する国の事業を積極的に活用するよう、市町村に対し助言を行っています。 今後ともこうした取組を通して教職員のICT活用指導力の向上に努めてまいります。 なお、光ファイバの整備について、各市町村において国の「高度無線環境整備推進事業」を活用した基盤整備が進められており、今年度中に全ての市町村で、交換局など中継拠点までの整備が完了する予定となっています。</p>	<p>義務教育課 デジタル推進課</p>

知事とのふれあい対話（湧水町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
小規模中学校の部活動について	<p>現状として、本当に子供たちが少なくなっている。中でも、吉松中学校の部活の現状について、男子生徒の入れる部活が、マンドリン部しかなく、運動部がない。コロナで、出かけることもなくなっているのので、子供たちのこのエネルギーを発散する場所を心配している。</p>	<p>生徒数の減少から単独では団体競技の運動部を設けることが難しい学校があります。</p> <p>このようなことから、複数校による合同の部活動を行っている地域もあります。また、総合型地域スポーツクラブを活動の場としている生徒たちも見られます。</p> <p>県教委では、市町村教育委員会に合同部活動の促進や地域スポーツクラブの設置など、生徒のニーズに応じた活動の場を設けるよう指導・助言に努めてまいります。</p>	保健体育課
最低賃金について	<p>最低賃金について、鹿児島県は今793円で、安いのが現状。もう少し全体を上げられたら良いかと思うが、その最低賃金を決める基準について教えてほしい。</p>	<p>各都道府県の最低賃金である「地域別最低賃金」については、最低賃金法に基づき、都道府県労働局に置かれる地方最低賃金審議会の審議を経て、都道府県労働局長が決定することとなっています。</p> <p>①労働者の生計費、②労働者の賃金、③通常の仕事の賃金支払能力の3要素を考慮して決定されることとなっており、①を考慮するに当たっては、生活保護に係る施策との整合性に配慮するものとされています。</p> <p>また、地域別最低賃金については、全国的な整合性を図るため、厚生労働省に置かれる中央最低賃金審議会が、毎年、「目安」を作成し、地方最低賃金審議会に参考として提示しています。</p>	雇用労政課

知事とのふれあい対話（湧水町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
耕作放棄地について	<p>農業している上で問題だと思ってるのが、山に囲まれた田んぼが多い。そういう場所は獣害が多かったり、災害が多かったり、杉やヒノキも大きくなってきて日陰が大きくなるので、条件がとても悪い。今後省力化して生産性を上げていくために、そういった田んぼを手放すことになるのを心配している。一方で、そういった田んぼの水はとても綺麗で、うまくつくればおいしい米ができるとも思っている。例えば、そういった場所でできた米を集め、付加価値を付けるなど、他の米と差別化し売っていけば、そういった条件の悪い田んぼでも、喜んで作る人が増えていくのではないかと考えている。</p>	<p>県では、むらづくり活動の一環として、農村環境の維持・保全や地域資源の発掘・活用の取組を支援しています。</p> <p>県内の棚田地域では「幸田の棚田米」や「八重の棚田米」としてブランド化を図っている事例があります。</p> <p>また、むらづくりに取り組む地域では、田んぼオーナー制度による都市住民との交流活動も各地で実施されています。</p> <p>今後ともこれらの取組を推進し、地域資源の付加価値向上と耕作放棄地の発生防止に努めてまいります。</p>	農村振興課

知事とのふれあい対話（湧水町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>県道102号線の整備について</p>	<p>県道102号線の、鹿児島県、宮崎県の県境に狭隘なところが10mぐらい、高規格の県道から急に狭くなっているところがある。これが国道268号の迂回路にもなるわけだが、災害時に、大型車両の通行が非常に困難になっている。先般、この7月の大雨災害の時も、国道268号が通れなくなって、宮崎、熊本からの大型の車両がここに集中したが、とても危険な状態になる。 知事には、何とかこの拡幅を整備してほしい。</p>	<p>御要望の箇所は、以前、道路改良を行っていた箇所であり、一部用地取得が困難となったことから、現在も道路幅員が狭い状態となっています。 用地取得の見通しが立ちましたら、整備について検討してまいりたいと考えております。</p>	<p>道路建設課</p>
<p>特別支援学校の設置について</p>	<p>特別支援学校の設置について、是非ともお願いしたい。 伊佐湧水の両議会で、協議会も発足した。県としても、前向きに、検討してほしい。</p>	<p>特別支援学校の設置については、新たに制定された特別支援学校設置基準の趣旨を踏まえつつ、通学時間の課題等も含め、県全体の特別支援学校の教育環境の改善として、各学校の状況を勘案しながら、既存施設の改修や学校の分置なども含めて検討し、優先順位を定めて計画的に対応していきたいと考えています。</p>	<p>特別支援教育室</p>

知事とのふれあい対話（湧水町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
河川の寄洲除去について	<p>河川の寄洲除去について、県河川は、ほとんど護岸工事が終わっていると思う。ただ、中山間地域には、水田用の井堰があり、そこで水を止めるため、どうしても寄洲がたまって、流下能力を阻害している。中山間地域の河川は、雨が降った時、急激な荒川になる。今回も線状降水帯があったが、過去には、河川が越水して、水田や農地等を荒らしている。河川の状況を今一度確認していただき、できれば早期に寄洲除去をお願いしたい。</p>	<p>寄洲除去については、氾濫を未然に防止する重要な対策であることから、河川を点検し、河川断面が著しく阻害され、治水上、緊急性の高い箇所から、順次、実施しています。今後も、河川の維持管理に必要な予算を確保し、重点的に取り組んでまいります。</p>	河川課
菱刈・横川線の整備について	<p>菱刈・横川線、ほとんど改良は終わっているが、幸田地区については、菱刈から横川までの間は、今の交通量に対応しきれないカーブ等が危険なところが7カ所ある。ここ1ヶ月間の間に死亡事故に匹敵する事故が、3件あった。安心安全な環境を作っていただきたい。</p>	<p>御要望のカーブ区間の解消については、沿線の状況や交通事故の発生状況、現在事業中箇所の進捗など、優先度を踏まえ検討してまいりたいと考えております。</p>	道路建設課

知事とのふれあい対話（湧水町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
各種会合の役員への女性の登用について	<p>いろいろな会に女性の登用がないということを残念に思っている。鹿児島は特に少ないように思う。防災会議等いろいろな会があるが、その決定の場に、女性がいないということで、大変残念に思っている。人口の半分以上が女性だが、ほとんどは男性が役職についている。是非その辺をもう1度お考えいただき、女性の登用をお願いしたい。</p>	<p>社会のさまざまな分野の発展のためには、各分野の政策・方針決定過程に多様な立場の人が参画し、その意見が反映されることが重要です。そのため、県では第3次男女共同参画基本計画において、令和4年度までに県の審議会等の女性委員の比率を40%以上とする目標を掲げ、女性の登用促進に積極的に取り組んでおります。</p> <p>平成30年度末には、その目標を達成しましたが、引き続き政策・方針決定過程への女性の参画拡大を進めてまいります。</p>	男女共同参画室
特別支援学校の設置について	<p>親御さんたちの思いを受け止め、特別支援学校の設置について検討して欲しい。</p>	<p>特別支援学校の設置については、新たに制定された特別支援学校設置基準の趣旨を踏まえつつ、通学時間の課題等も含め、県全体の特別支援学校の教育環境の改善として、各学校の状況を勘案しながら、既存施設の改修や学校の分置なども含めて検討し、優先順位を定めて計画的に対応していきたいと考えています。</p>	特別支援教育室

知事とのふれあい対話（湧水町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
樋寄川の排水ポンプについて	<p>樋寄川に排水ポンプがある。昭和57年に設置したもので、これまで多くの修繕、改修を行い、修繕費用等に約1億円かかっている。この前の大雨の時は、ポンプが冠水して用をなさない。この件についてもよろしくをお願いしたい。</p>	<p>樋寄川にある排水ポンプ（川添排水機場）は、平成18年7月の県北部豪雨災害で被災し、災害復旧事業により再整備しております。その後、平成30年度に点検診断及び機能保全計画（補修計画）を策定し、農業水路長寿命化・防災減災事業により令和4年度～5年度に設備の一部改修を予定しております。</p> <p>県としましては、今後とも農業用施設の適切な保全対策が図られるように支援してまいります。</p>	農地保全課